

がんばろう 南三陸町 復興第75号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター



南三陸町北福祉・健康まつり2018
コール潮騒のメロディに聞き入る来場者
沢山の来場者。そして「繋がり」。
9月30日の日曜日、台風24号の警戒の中で、ベイサイドアリーナの総合体育館を全て使い、「南三陸町福祉・健康まつり」が開催された。

会場の周辺の駐車場は満杯で、来場者の車は右往左往する盛況を見せていた。協賛は朝日生命保険相互会社で、実行委員会には南三陸町保健福祉課・包括支援センター、洗心会のぞみ作業所・風の里、南三陸町愛の手をつなぐ親の会、おもちゃ図書館いそひよ、町内の老人ホーム・福祉施設の6社など、体育館いっぱい遊びと福祉環境の紹介のブースがあった。
愛の手をつなぐ親の会ではバザーが開かれ、のぞみ作業所では、作業所での制作された品々



告知広告掲載支援

「石巻サポステ(就労・自立)出張相談会」 南三陸町ベイサイドアリーナで開催!

【働きたい・・・でも、どうしたらいいんだろう・・・?】
【子どもの先々を考えると仕事に就いてもらいたいけど・・・】
「上手くしゃべれない」「コミュニケーションが苦手」「人間関係でつまづいた」「人が怖い」「働くことが不安」「働いていく自信がない」「中退した私でも相談できる?」など、いま抱えている悩みや想いを整理することから始めてみませんか?

●日時 11月9日(金)

午後1時～3時(相談時間の目安:1時間)
(毎月第2金曜日 午後1時～3時に開催の予定です。)

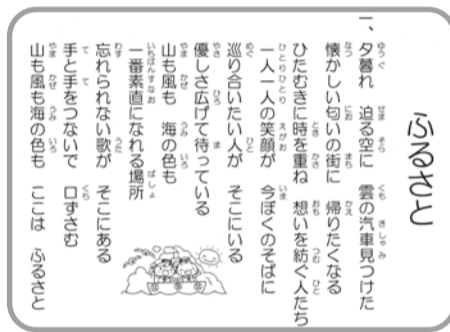
●場所 ベイサイドアリーナ ミーティング室

●予約・問合先 石巻地域若者サポートステーション
(☎0225-90-3671 / FAX:0225-90-3672)

※サポステは厚生労働省委託事業の15歳～44歳までの働くことに不安や悩みを抱える若年無業者とその保護者などを対象とした厚生労働省委託の相談窓口です。



志津川小学校の「学芸会」が10月20日(土)に開催され、体育館にはスマホ・ビデオで我が子を追う家族が多く集まった。
くろしお児童会のスローガン「笑顔・協力・思い出に残る学芸会」を掲げ、児童たちの生き生きとしたダンスやかわいらしい歌・演技に魅了された学芸会となった。
校長先生の挨拶では、震災復興学習発表会は今年から学芸会となったと話し、一緒に笑った



り感謝したり楽しんでもらいましょう、と話した。一年生の言葉で始まり、劇では地域の人たちが参加したり「名産のタコはやっぱりおいしい」など、ふるさと南三陸町を題材にしたものも発表された。



発表テーマ「旋風～巻き起こせ志中の風～」
志津川中学校の文化・学習発表会が10月21日(日)に体育館で開催された。
実行委員長の阿部さんは「地域や家族の皆様へ日頃の感謝の気持ちと感動を伝えたいと合唱練習に取り組んできた」と述べた。英語暗唱や国語弁論の発表は素晴らしいものだった。
少年の主張では「ふたつの故郷(ふるさと)」と題し、阿部君が発表した。「中国の大連から南三陸町に来た、何も無い町に来た。」と初めに語り出した。「なんで日本に来た。」「あきらめず前

に進もう。」と日記に書いた。そんなとき同級生が「トシ大好きだよ」「トシ頑張れ」と支えてくれる友達がいた。そして「二

つ目の故郷となった。」と語った。最後に「日本、南三陸町の文化を私自身が受け入れようとしなかった」と気づき、「思いや」と言う言葉は同じと知らされた」と最後を綴った。
クラス対抗合唱では、最優秀賞には2年2組が、指揮部門でも2年2組の氏家君、伴奏では三浦さんが選ばれた。
震災以後の厳しい環境の中で、生徒たちの頑張る姿を、クラスのチームワークや個々の活動の中で感じた「志中学習発表会」だった。

南三陸町人口の推移

(平成30年8月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
23年3月	17,064	7,823	2,296	1,884	5,061
30年8月	13,056	5,361	1,424	1,967	4,304
30年7月からの増減数	-25	-18	6	-9	-4
世帯数	4585	2102	472	654	1357

(2018年9月の新聞記事より)

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない
平成30年(2018年) 7月の出来事
～地元報道より～

南三陸町

- ◆南三陸町志津川に1日、JR気仙沼線BRTの「志津川中央団地駅」が開業した。オープニングセレモニーが行なわれ、約30人が出席した。「ベイサイドアリーナ駅」の名称が「南三陸町役場・病院前駅」に変わった。
- ◆台湾南部にある国立嘉義高級中学で日本語を学ぶ高校生が、南三陸町を訪れ志津川高校の生徒と交流した。日本語研修旅行の第1弾のグループで、6～18日まで滞在し、民泊しながら日本語や日本文化に触れる。
- ◆地元漁業者が中間育成したホシガレイの稚魚が、南三陸町戸倉の波伝谷漁港で10日放流された。放流は6月28日とこの日の2回で、それぞれ1万匹ずつ放流された。

- ◆12日南三陸町立名足小学校の全校児童が長須賀海岸で地引網漁などを体験。51人の児童は、きれいな海を守ろうと始めにゴミを拾い集めた。
- ◆南三陸町戸倉の寺浜漁港沖で、15日午後1時ころ仙台市の男性と男子小学生2人が乗ったゴムボートが風で流されて、県漁協志津川支所所属の漁船に救助された。

第100回全国高校野球選手権記念宮城大会で、今大会から会場になった南三陸町歌津の平成の森しおかぜ球場で、16日志津川一岩ヶ崎の試合が行なわれ、志津川が10-9で初戦を突破した。

- ◆18日志津川高校自然科学部の生徒(2・3年生4人)が南三陸町立志津川小学校を訪れて、地元の干潟で行っている生物観察の成果を発表した。

町は写真や映像などの資料を保存、整理し、震災の記憶として後世に伝える「震災伝承施設」を、道の駅と一体的に整備する。この「震災伝承施設」の基本計画を策定する業者を募集。

- ◆南三陸町の2017年度の観光客の入り込数は

142万5千人と大幅増。本設オープンした南三陸さんさん商店街とハマレ歌津への来場者が全体の6割を占める。三陸道の延伸効果も要因の一つとみられる。◆町民税務課によると、2017年度の町税収入額は13億円を超えて、東日本大震災前の水準をわずかではあるが上回る見通し。震災で落ち込んだ町税は順調に回復しているが、法人町民税が17年度は減少した。

南三陸町は被災した志津川地区の市街地60haを対象区域に土地区画整理事業を実施。町が買い上げた土地を利活用する事業などを募集している。3度目の公募で42区画が対象となっている。

- ◆南三陸町は志津川地区市街地の土地区画整理事業区域のうち、土地の引き渡し済んだ13カ所の位置や面積、接地する道路の幅、写真を添付して26日から、ホームページで情報提供を開始した。
- ◆2017年の観光客入り込数が140万人を超えて、過去最高を記録した南三陸町だが、日帰り客が伸び宿泊客は減少。三陸道延伸により、南三陸町は日帰り圏内となっている。